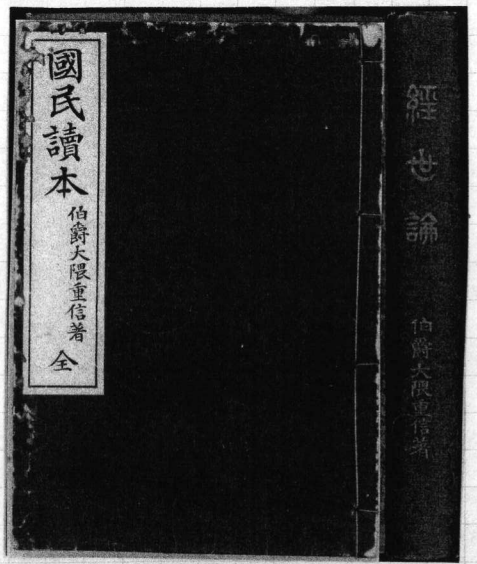


大隈重信 おほいまゐり 政治家。大保九年一月十六日肥前國生れ、大正十一年一月十日歿（八三—一九三二）。通稱大太郎。蘭英學を學び、幕末に尊攘派として活動。明治二年参議、六年大藏卿、十五年より憲政進黨總裁と政治黨總裁として最初の政黨内閣組閣、四十年早稻田大學總長、大正二年第一次組閣。侯爵。

著書『菅公談』（明治二十二年十月二十日東京專門學校出版部「早稲田小篇」）、『大隈治白話』（江森泰吉編、明治四十一年六月一日實業之日本社）、『我半生の奮闘』（合著・井上泰岳編、明治四十一年十一月二十八日博文館）、『國民讀本』（明治四十一年二月一日丁未出版社・寶文館）、『經世論』（大正元年十一月八日留山房）、『大隈治白話』（圓城寺清編、大正二年一月二十五日新潮社）、『日支民族性論』全二冊（前編、後編、大正四年七月十五日公民同盟出版部「八支民同盟叢書」）、『現代青年の告白』（偉人言行研究會編、大正八年二月二十五日大盛堂書店、城北書房）、『大隈侯論文集 世界大戰以來』（榎馬由世編、大正八年六月二十八日大觀社）、『早稲田清話—大隈老侯座談集』（同筆録、大正十一年七月十五日冬夏社）、『東西文明の調和』（金子馬治執筆、大正十一年



『大隈侯論文集 世界大戰以來』（榎馬由世編、大正八年六月二十八日大觀社）、『早稲田清話—大隈老侯座談集』（同筆録、大正十一年七月十五日冬夏社）、『東西文明の調和』（金子馬治執筆、大正十一年

十一月二十五日早稻田大學出版部・實業之日本社・大日本文明協會。

異版・十一月十五日大日本文明協會事務所、明治史資料大隈伯爵

自傳』(圓城圭清著・京口元吉原校註、昭和十二年十一月十日畠山房

「畠山房百科文庫」)等。

文獻、藤田一郎著『時勢對話』(明治十五年四月二十日八日編・並木鏡

太郎編輯出版。「與大隈重信君問答」(合)。

流覽著『大隈板垣兩君之傳』(內題「大隈板

垣傳」明治二十年一月一日文華堂「近代蒙傑

傳」)、大隈家編修局編『國民讀本參考』(明

治四十二年十月一日、訂改國民讀本參考』大

正二年六月十五日丁未出版社・寶文館)、昇

山堂編輯部同人編『世界的大隈侯記念寫真帖』

(大正十一年二月十五日昇山堂出版部)、五

來欣造著『人間大隈重信』(昭和十二年十月二十日早稻田大學出版

部)、渡邊幾治郎著『大隈重信―近代日本の建設者』(昭和十八年九

月二十五日照林堂書店)、早稻田大學圖書館編『大隈重信生誕百廿五

年記念展覧』(昭和二十八年十一月十日早稻田大學)、中村尚美著

『大隈財政の研究』(昭和四十二年十一月十五日校倉書房)、加藤鷹

入著『大隈重信と學園内の商店主の在り方』(昭和六十二年十二月十

日發行)等。

